

## 令和4年度 八重瀬町立具志頭中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 音楽科
教科担当氏名	川根 昭佳
教科書名	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名 (問題集)	音楽のハーモニー3年

はじめに：本校教育目標：目標を持ち自ら学ぶ生徒 の育成を目指し、教科シラバスを示します。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

音楽・文芸評論家の小沼純一氏は音楽について次のように述べています。音楽は、人がいるところどこにでもあります。しかし、国や文化によって、音楽も様々に異なっています。音色の好みも、音の並びも、楽器も違います。異なった文化圏からすると「これが音楽？」と思えるようなこともあるかもしれません。こんな人、あんな人、こんな言葉、あんな言葉がありそれぞれに価値がある。好きな音楽、嫌いな音楽があります。好きじゃないけれどもおもしろい音楽、気になる音楽もあるかもしれません。単純に「好き・嫌い」だけでなく、べつの軸をもつことで、それぞれの音楽—だけではなく、人のこと、言葉のこと、など—を尊重できるのではないのでしょうか。

多様な価値観を互いに認め合うことのできる音楽の授業を目指してともに学びましょう。

### 1 教科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</li> <li>○曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考力・判断力・表現力)</li> <li>○主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽を親しんでいく態度を養う。(学びに向かう力・人間性等)</li> </ul>
授業のすめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して歌唱活動、器楽活動、創作活動、鑑賞活動の4つを学ぶ。</li> <li>○ペア活動やグループ活動等学習形態の工夫を行い、他者と音楽を共有する時間を設ける。</li> <li>○ワークシートや授業の振り返りシートを活用する。</li> </ul>
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の基礎・基本を定着させる。</li> <li>○感じ取ったことを表現できる雰囲気作りに努める。</li> <li>○鑑賞活動では感じ取ったことを音楽用語を用いて表現できるようにする。</li> </ul>

### 2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の評価の観点は3つ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」</li> <li>○定期テストだけではなく授業態度（忘れ物等も含む）、授業振り返りシート、提出物、実技テスト等も含めて総合的に評価する。</li> </ul>
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期テストは全3回（各学期1回）</li> <li>○授業で取り組んだ題材から出題</li> <li>○音楽のキャンパスからの出題（音楽の記号や用語等）</li> </ul>

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	オリエンテーション、「花」「風の中の青春」	ワーク
5月	歌唱「花の街」「アルトリコーダー」	ワーク アルトリコーダー
6月	鑑賞「早春賦」「合唱コンクール曲選曲」	ワーク CD
7月	ポピュラー音楽について 歌唱「合唱コンクール曲の取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクール曲の取り組み」 鑑賞「ブルタバ」	ワーク
10月	歌唱「帰れソレントへ」 歌唱「合唱コンクールの取り組み」	ワーク
11月	器楽「リコーダー」 期末テスト	リコーダー
12月	鑑賞「越天楽」「世界の諸民族の音楽」	ワーク DVD
1月	器楽「リコーダー」	リコーダー
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「リコーダー」	リコーダー
3月	鑑賞「卒業式への取り組み」 国歌「君が代」	
	※コロナ禍により歌唱活動や器楽活動等は、活動できない時期や活動制限があります。	

#### 4 授業をうける心構え

- 授業開始3分前には着席しておく（立腰と黙想の徹底）
- 授業の始めと終わりは、あいさつでけじめをつける。
- 音楽に興味・関心を持ち積極的に授業に参加する。
- 校内合唱コンクールの取り組みでは仲間と協力してパート練習を行う。
- 歌唱活動や器楽活動では得手、不得手に関係なく自己表現を高める努力を重ねる。

#### 5 家庭学習のアドバイス

- 記号や用語は歌詞や曲と関連づけながら覚える。
- 実技テスト（アルトリコーダー）前は、リコーダーを持ち帰って練習しても良い。
- 長期休暇は様々な音楽に触れよう。